

現在、新型コロナウイルス感染症は予想を下回る患者発生数になっています。しかしながら EU 諸国や韓国を見ると、日本もこのまま終息するものとは思えず、また南アフリカでは新たな変異株オミクロンが発生しました。まだまだしばらくは用心が必要と思います。

新潟市のワクチン 2 回接種率は現在、65 歳以上の方で 92.4%、12 歳以上の市民で 76.0%に達しているそうです。当院での 3 回目の接種は R4 年 3 月初めから開始したいと考えています。2 回目接種後 8 か月以上経過の方が対象になります。現時点では予約方法などは未定です。(院長・宮島・記)



**上写真;**当院では毎週 1 回各病棟で、看護師・MSW・リハビリ技師など多職種職員が集まり退院支援カンファレンスなど行っています。

### 豊栄病院「患者総合支援センター」の紹介

豊栄病院では地域との連携窓口として地域連携支援部(患者総合支援センター・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所)を設置しています。病院の地域連携業務・入退院支援について担当しています。患者総合支援センター内でも病診・病病間の受診予約や転院調整は地域医療連携室(事務員2名)が担当。地域活動・入退院支援は医療福祉相談室(MSW3名・看護師1名)が担当しています。また、平成 28 年より新潟市から在宅医療・介護連携ステーション北の委託を受け、北区の医療・介護連携の体制作りの拠点を

担っています。今後も地域と病院をつなぐ架け橋になれるようスタッフ一同頑張っていきたいと思います。みなさん、よろしくお願いいたします。

この度 10 月から医療ソーシャルワーカーの交代がありました。斎藤直之さんが着任しましたので、自己紹介いただきました。



**写真:**下段左から、MSW 荒川・斎藤・岩淵

上段左から石山事務員・川崎 Ns・天木事務員

“はじめまして。このたび 10 月より豊栄病院患者総合支援センターに医療ソーシャルワーカーとして着任した斎藤直之と申します。前任地の新潟医療センターでは、主に回復期リハビリテーション病棟を担当し患者さん・ご家族との関わりや地域の関係機関及び多職種の方々との連携について学ばせていただきました。これまで下越地区を中心に複数回の転勤を経験してきましたが、何度経験しても中々慣れるものではなく、今回も同様に緊張感を感じながら日々過ごしているところです。転勤となると病院のシステムを理解したり、地域との繋がりや社会資源などを新たに構築したりと大変なことはありますが、自分自身が専門職として成長できる良い機会であるとも思っています。着任しておよそ 2 ヶ月となりますが、まだ不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、地域の皆様と関わりながら、良い支援が行えるよう努力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。”(斎藤直之)